

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
あいちビジネス専門学校		昭和53年9月1日		竹下 啓太		〒460-0026 愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目13番28号 (電話) 052-331-7888																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人電波学園		昭和34年3月31日(愛知県) 昭和61年12月23日(文部省)		小川 明治		〒456-0034 愛知県名古屋市中区熱田区神宮四丁目7番21号 (電話) 052-681-2299																			
分野	認定課程名		認定学科名		専任	専任		高度専任																	
商業実務	商業実務専門課程		医療IT科		平成17年文部科学省 告示第32号			-																	
学科の目的	診療報酬請求業務に加え、病院を管理運営する知識、コンピュータ知識等を得し、医療現場での実習も加え、専門知識と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	2160時間	1008時間	720時間	432時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人		18人	0人	10人	6人	16人																			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験点80点、出席点20点の100点満点で評価。																				
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月10日 ■学年末:3月25日～3月31日			卒業・進級条件	・すべての学科目が60点以上であること ・出席すべき日数の5分の4以上出席していること。																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学時個人面談の実施 検定試験等に対する補習、補講、対策講座の実施 欠席者への個人連絡、家庭連絡等			課外活動	■課外活動の種類 愛専各・全専各卓球大会 体育祭・学校祭学生実行委員会 海外研修等 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者にに関する令和4年5月1日時点の情報)																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 医療機関(病院、診療所)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子カルテ実技検定</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>医事コンピュータ技能検定</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>MOS試験</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	電子カルテ実技検定	③	2人	2人	医事コンピュータ技能検定	③	2人	2人	MOS試験	③	2人	2人
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																				
電子カルテ実技検定	③	2人	2人																						
医事コンピュータ技能検定	③	2人	2人																						
MOS試験	③	2人	2人																						
■就職指導内容 進路指導会の実施、担任・就職担当による個別指導 ■卒業生数: 2人 ■就職希望者数: 2人 ■就職者数: 2人 ■就職率: 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合: 100.0% ■その他: (令和3年度卒業者にに関する令和4年5月1日 時点の情報)			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄																						
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 令和2年4月1日時点において、在学者13名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者13名(令和4年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 出席状況に応じた個人面談、学科会議、保護者会実施、家庭との連絡、スクールカウンセラーとの面談等																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ありがとう奨学金制度、ファミリー奨学金制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.aichi-bc.jp/subject/iryo/iryoit/index.html">https://www.aichi-bc.jp/subject/iryo/iryoit/index.html</a>																								

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療秘書教育全国協議会等、医療業界関連団体との連携や、学生就職先医療機関を中心に医療現場からの要請を組み入れた教育課程の編成を行っている。また授業においては机上の知識のみならず、現場実務を意識して展開し、さらに連携医療機関にて現場実習を取り入れ、併せて必要な知識や教育内容をヒアリングするなど、実践的な教育を行うことで、即戦力として求められる人材育成を目標に連携することを基本方針としている。また、日本病院会への訪問、医療機関へのヒアリングを行い、診療情報管理士育成のためのカリキュラムを導入。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の原案は学科にて策定し、到達目標(資格取得目標)を明確にしている。教育課程編成委員会は校長直轄で組織され、到達目標が妥当であるかや、資格取得結果等について精査し、現場において現在また今後求められる知識・技術や実践的かつ専門的な能力を養成する授業科目の開設等について提言を行う。学科は、これら教育編成委員会の提言を鑑み教育課程の変更、策定を行い校長に上申し決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
篠原 陽子	日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	①
高柿 幸代	NPO日本医師事務作業補助者協会 愛知・岐阜支部 世話人	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
内田 広幸	株式会社 コネクティブ 営業部 プランニング ディレクター	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	③
宮崎 弘之	株式会社 日本リテイル研究所	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
永田 るり子	ポイント・フォワード株式会社 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	③
川崎 景一郎	医療法人 贈恩会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	③
肆矢 幸輝	医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院 医事課 課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
松岡 祐也	社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院 企画部 企画室副主任	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
竹下 啓太	あいちビジネス専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	
小栗 宏之	あいちビジネス専門学校 教務科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	
清水 義徳	あいちビジネス専門学校 渉外科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	
林 久實	あいちビジネス専門学校 指導主任	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	
粥川 暁仁	あいちビジネス専門学校 教務主任	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	
成田 和弥	あいちビジネス専門学校 広報主任	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年12月9日 13:55～15:10

第2回 令和4年2月4日 14:00～15:05

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ネットワーク管理やセキュリティ対策の知識や技術を身に付けた人材の育成が必要であるとの意見が委員からあった。また、学生の就職先である医療機関からも同様の意見があり、情報セキュリティを行うよう教育課程の変更を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

医療現場で必要とされる人材となるため、学内では、医療業界に精通し医療機関において実務経験豊かな講師による授業を展開している。また医療現場での実務実習を実施し、これらと通じて実際の実務や患者様との対応、医療従事者との連携等を学ぶ体制を医療機関と連携して構築し、習得した知識・技術・心構えなどを基に、学内での教育と連動して即戦力として活躍できる人材を育成する体制を整えることを基本としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

医療機関で実務実習を実施している。実習内容カリキュラムは本科から提示し、それを基に各医療機関が実務に合わせて実習計画を策定している。本科教員は実習前の実習先訪問で実習計画を確認し、7月の事前指導会で医療機関の要望とともに学生へ伝えている。実習中の訪問では、実習生の状況確認とともに、実習先による指導状況を確認。実習後の訪問では、実習に対する評価、情報交換を行っている。医療機関からは参加学生の評価及び意見や改善点を文書でいただき、いただいた評価、意見、改善点等を参考に該当教科の評価を行うとともに、学科会議において教員間の情報共有を行い、学生へのフィードバックを行っている。実務実習を通じて医療機関との連携を図っている。また学内で実施する授業についても、連携科目は医療現場に精通した講師が授業を展開し、評価を行い連携している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
医療事務演習Ⅱ	医療機関で働くにあたっての必要不可欠な医療費の算定、診療報酬明細書の作成や医療保険制度について学ぶ。	名古屋共立病院、名古屋徳洲会総合病院、八千代病院、大同病院等
医事コンピュータ実習 実習Ⅱ	医事コンピュータソフトの操作方法、入力方法を習得し、医療費算定、診療報酬明細書の作成について実践的に学ぶ。	名古屋共立病院、名古屋徳洲会総合病院、八千代病院、大同病院等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

日々変化を進める医療業界のニーズに応えるために、教員のスキルアップは欠かすことのできないことと認識しており、関連団体の公式研修や小規模の会合にまで積極的に参加する体制をとっている。実施にあたっては職員研修規定の定めに従って行っている。毎年実施される医療秘書教育全国協議会が実施する医事コンピュータ技能検定試験関連研究会への参加を年度初めに計画している。学園教職員研修については、教職員の専攻分野における実務能力向上、指導力の修得・向上のためのプログラムを計画し、年度始めには日程を全教職員へ周知し計画的な参加を促す。また、研修参加後は、他の教員との情報共有のため学内での報告会を実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「教員研修会」(連携企業等：一般社団法人医療秘書教育全国協議会)

期間：令和3年8月16日(月) 対象：教員等

内容：病院施設基準管理士養成の必要性。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教員研修会」(連携企業等：一般社団法人医療秘書教育全国協議会)

期間：令和3年8月16日(月) 対象：教員等

内容：コンピュータ関連知識の指導法など。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「教員研修会」(連携企業等：一般社団法人医療秘書教育全国協議会)

期間：令和4年8月 対象：教員等

内容：2022年度診療報酬改定と医療機関の動向等。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教員研修会」(連携企業等：一般社団法人医療秘書教育全国協議会)

期間：令和4年8月 対象：教員等

内容：DPCの概要と指導法など。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

社会から求められる人材を育成し社会経済発展に寄与できる学校となるため、学校内部に関する点検、評価、改善が不可欠である。本校の教育理念・学校運営・教育活動等について行った学校自己評価を基に、学校関係者による評価を実施し、より適切に学校運営がなされると共に社会から必要とされる学校とすることを基本方針としている。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校自己評価報告書を基に、学校関係者評価委員の評価・改善意見を取りまとめている。提言された意見については順次改善に向けて活用している。学生の主体的な行動を促す意味でも、オープンキャンパスでの在校生スタッフの増員を提案いただいた。体験授業の実施などより具体的な役割を在校生が経験できる場としていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
篠原 陽子	日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	業界団体
高柿 幸代	NPO日本医師事務作業補助者協会 愛知・岐阜支部 世話人	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	業界団体
内田 広幸	株式会社 コネクティブ 営業部 プランニング ディレクター	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
宮崎 弘之	株式会社 日本リテイル研究所	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	企業等委員
永田 るり子	ポイント・フォワード株式会社 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
川崎 景一郎	医療法人 贈恩会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
肆矢 幸輝	医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院 医事課 課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
松岡 祐也	社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院 企画部 企画室副主任	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( )

URL:<https://www.aichi-bc.jp/>

公表時期: 令和4年3月14日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学生、保護者、業界関係者、進学検討者等の理解を深めるため、学校概要、学科内容、就職実績、資格実績、募集要項等について、ホームページ、パンフレット、募集要項等にて情報提供を行っている。

また企業には、教育目標、教育内容、就職支援体制等の情報を提供し、企業の採用判断に役立てると共に、本校並びに

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)あいび特徴6つの魅力・校長メッセージ・沿革・等
(2)各学科等の教育	(2)カレッジ制・各学科概要・資格実績・就職実績等
(3)教職員	(3)教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)就職サポート・就職指導室等
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)キャンパスライフ・施設等
(6)学生の生活支援	(6)暮らしサポート・臨床心理士サポート
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生学納金・学費サポート

(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校自己評価・学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(                    )    )  
URL:<https://www.aichi-bc.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療 I T 科) 令和4年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ビジネスマナー I	社会人として必要な礼儀、マナー、身だしなみとともに、医療人に必要な患者対応技術などを実践的に学ぶ。	1通	72			○		○			○	
2	○		簿記会計	企業会計として病院における簿記を学び、各種事務作業に役立つ知識を身につける。	1通	108			○		○			○	
3	○		アプリケーション実習 I	ワープロソフトの操作方法を学ぶとともに文書作成能力を身につける。	1通	72				○	○			○	
4	○		医療保険概論	診療報酬明細書（レセプト）を作成する上で、必須となる医療保険制度（保険給付、保険者番号、傷病手当金等）について学ぶ。	1通	72			○		○			○	
5	○		医療事務演習 I	外来診療報酬請求に関する基本的算定方法と、外来レセプトの作成方法を中心に請求事務の基本を学ぶ。	1通	216			○		○			○	
6	○		医事コンピュータ実習 I	医事コンピューターソフトの操作方法、入力方法を身に付け、実務的な医療費の算定、診療報酬明細書の作成について学ぶ。1年次は外来部門を中心に実習する。	1通	72				○	○			○	
7	○		医療関係法規	医療に関係する法規や制度（医事、薬事、保険、予防など）について学ぶ。	1通	72			○		○			○	
8	○		医療用語学	医師をサポートする医療秘書として知っておくべき基本的な医学・医療用語について意味を理解し、それらの内容を学ぶ。	1通	36			○		○			○	
9	○		ICTスキル	ICTの基礎知識や医療情報システムなどについて学習するとともに、ネットワーク、セキュリティ技術の基本についても学ぶ。	1通	72			○		○			○	
10	○		医療関連知識 I	からだの部位、検査、疾病など医療事務に必要な医学的基礎知識を学ぶ。	1通	72			○		○			○	
11	○		医療概論	医療の基本的な知識と倫理をを学び、患者の権利や、患者の備える特性について理解する。	1前	36			○		○			○	

12	○	基礎医学	人体の構造と正常な機能および疾病についての基本的な知識や、その病態を学ぶ。	1通	108		○			○									
13	○	ライセンス取得講座Ⅰ	各種資格試験の対策授業を行う。	1通	72		○			○									
14	○	ビジネスマナーⅡ	医療機関への実務実習、就職に向けてのマナー、患者対応を身に付ける。	2通	72				○		○								
15	○	アプリケーション実習Ⅱ	表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの操作方法を学ぶとともに、資料作成能力を身につける。	2通	144					○	○								
16	○	医療情報セキュリティ	ネットワーク、セキュリティ技術について正しく理解し、医療機関において必要な対策を講じることのできる技術、知識について学ぶ。	2通	216		○				○								
17	○	介護事務演習	介護報酬の流れとケアプランに基づいた請求方法について学ぶ。	2通	72					○		○							
18	○	医療事務演習Ⅱ	入院レセプトの算定・作成、療養担当規則を中心とした医療事務スタッフとして欠かせない知識を学ぶ。	2通	216				○	△	○	○					○	○	
19	○	医事コンピュータ実習Ⅱ	1年次に学んだ外来部門の算定に加えて、入院部門の医療費算定を実習する。	2通	72						○	○	○					○	○
20	○	病院管理学	病院の目的と各部門の機能を理解し、病院マネジメントに必要な手法、知識を学ぶ	2通	72		○					○						○	
21	○	電子カルテ実習	診療録の記載内容について理解し、迅速で確実な、電子カルテの入力方法を身につける。	2通	72						○	○						○	
22	○	医療関連知識Ⅱ	薬剤と病名や検査との関連性を学び、医療事務員として必要な検査、薬の知識を身につける。	2通	72		○					○						○	
23	○	ライセンス取得講座Ⅱ	各種資格試験、認定試験の対策授業を行う。	2通	72		○						○					○	
合計				23科目		2160単位時間( 単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
・すべての学科目について、100点満点で評価を行い、60点以上であること。 ・出席すべき日数の5分の4以上出席していること。	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	18週	

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。